

【中学校数学】

◇ 数学A（知識）の平均正答率は64.4%で、例えば、次のような課題が見られる。

○見取図、投影図から空間図形を読み取ることについては、相当数の生徒ができている。 [A 5 (2) 85.2%]

○与えられた一次関数の式について、 x の値に対応する y の値を求めることについては、相当数の生徒ができている。 [A 11 (1) 83.6%]

●関数の意味を理解すること [A 9 16.8%]

●与えられたヒストグラムについて、ある階級の相対度数を求めること [A 14 (2) 22.7%]

◇ 数学B（活用）の平均正答率は40.4%で、例えば、次のような課題が見られる。

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや、言葉で表現された事柄の数学的な意味を的確に捉え、他の事象との関係を考えること [B 3 (2) 26.4% (3) 27.5%]

●資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明すること [B 5 (2) 21.3%]